

会長挨拶

「平成二十六年新春」

浦和稲門会々長 辻村大司



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

早稲田大学は創立30周年の式典で大隅侯が学の「独立」「学問の活用」「模範国民の造就」を建学の理想としてスタート。その時から権力や時勢に左右されない「早稲田精神」を今日まで継承している。特に目立ったのはジャーナリストから政界に転身した石橋湛山、松村謙三の目覚ましい活躍で早稲田大学の評価は東大を上廻った。政治経済学部在学の講義中（統計学保田教授）

後の席から拍子！拍手 早稲田卒の初めての「石橋湛山内閣総理大臣」の誕生のニュースだ。今でも忘れられない早稲田の思い出の一コマである。私の社会人としての50年間は流通業界に身を置きその間いろいろな業務を経験いたしました。「原点」は「心の故郷」早稲田にあってと思います。「故郷」という言葉には不思議な力があるように思えます。「苦しい時」も「楽しい時」も「困難な時」にも故郷はいつも暖かく自分を包んでくれる「かけがえ」のないところ、大切なところであったと思います。人生のいろいろな「ステージ」ごとに心の「ありどころ」として「早稲田」の存在があったと思います。

稲門会に入会して「もう一度」「新しい出会」が始まり仲間との「交流」や「活動」に積極的に参加して頂くことにより、会員の皆様の生涯がより充実していくに繋がっていくと信じます。浦和稲門会は専門部「ゴルフ」「旅行」「麻雀」等部会長を中心に活躍いたしております。ご参加をお待ちしております。

浦和稲門会会報

No.12

平成26年4月

発行人

浦和稲門会

事務局 小滝敏郎

TEL (825) 4095

〒330-0063

さいたま市浦和区
高砂1-2-1-107

浦和稲門会 総会のご案内

平成26年5月24日（土）会場 浦和ワシントンホテル3F プリムローズに於いて
受付開始 16:30 開式・17:00 会員の皆様の参加お待ちしております。

*講演 大野 勢太郎氏 S45年 政治経済学部卒

テーマ 『ラジオと私』

ラジオメディアが衰退して久しいと言われている。果たして、それは正しいのだろうか。確かに、インターネットという新しい怪物が現れて以来、情報をキャッチする選択肢は増えた。既存の新聞、テレビ、そしてラジオの環境は大きく変化した。活字、映像、音声^{フルサト}が海を越え、あっという間に地球全体に発信されてしまうのである。その魔法のような伝達能力は、私たち既存のメディアが束になっても敵わない。しかし、その怪物の出現で、逆にラジオが再評価されるようになってきたのは、皮肉なものである。あのときとよく似ている。

私がラジオのキャリアをスタートしたのは、昭和45年、70年安保の年だった。当時、四谷の若葉町にあった『文化放送』（現在は浜松町）に新人アナウンサーとして入社したところから始まった。その頃、ラジオはテレビという娯楽の王様の前にひれ伏すように自信を失っていた。あの東京五輪で急速に広がったテレビ受像機が家庭のど真ん中に君臨してしまったからだ。

私自身も典型的な『テレビっ子』で、米国からの西部劇やファミリードラマ、『逃亡者』に代表される推理ものに釘付けになっていたのだ。テレビを観ていなければ、翌日の学校で話題に入れない状態だった。いつの間にか、ラジオという存在すら忘れていたのだ。

そのラジオが再び脚光を浴びるきっかけは、「ラジオはマスでなく、パーソナルなメディアである」ということに、ラジオ業界が気付いたからだ。『オールナイトニッポン』『パックインミュージック』『セイヤング』という若者をターゲットにした番組が、深夜帯に新しい文化を創造した。このとき、ラジオは生き返った。昭和45年は、ラジオの第二期黄金時代の真ただ中だった。そして私は、スポーツアナとしてキャリアのスタートを切る。

今回は、その取材過程で教えられたお話の幾つかを紹介したいと思う。



平成 25 年度 事 業 報 告



平成 25 年
 4 月 13 日 (土) 第 3 2 回麻雀部会・競技会
 4 月 20 日 (土) 役員幹事会 (千代田)
 4 月 22 日 (月) ~ 23 日 (火)
 旅行部会春季旅行会 (花巻)
 5 月 25 日 (土) 浦和稲門会総会・懇親会
 (浦和ワシントンホテル)
 6 月 5 日 (水) ゴルフ部会第 4 4 回コンペ
 (ゴールド栃木・プレジデント)
 6 月 8 日 (土) 役員幹事会 (銀座アスター)
 6 月 15 日 (土) 第 3 3 回麻雀部会・競技会
 6 月 22 日 (土) 川口地区稲門会創立 3 0 周年記念式典
 (金子幹事長・柏顧問)
 7 月 22 日 (月) ~ 23 日 (火)
 浦和稲門会有志ゴルフ会 (軽井沢高原 G)
 8 月 24 日 (土) 第 3 4 回麻雀部会・競技会
 9 月 8 日 (日) ゴルフ部会第 4 5 回コンペ
 (太平洋アソシエイツ・ヒルクレスト)
 9 月 21 日 (土) 校友会埼玉支部会長・幹事会
 (リリア・銀座アスター)
 9 月 27 日 (金) 早稲田大学校友会秋季代議員会
 (大隈講堂)

9 月 28 日 (土) 役員幹事会 (勇寿司)
 10 月 12 日 (土) 第 3 5 回麻雀部会・競技会
 10 月 20 日 (日) 稲門祭
 10 月 28 日 (月) ~ 29 日 (月)
 旅行部会秋季旅行会 (静岡・寸又峡)
 11 月 12 日 (火) 東京 6 大学ゴルフコンペ
 (霞ヶ関カントリー倶楽部)
 11 月 16 日 (土) 校友会埼玉県支部大会
 (所沢キャンパス)
 12 月 4 日 (水) ゴルフ部会第 4 6 回コンペ
 (霞ヶ浦国際)
 12 月 14 日 (土) 第 3 6 回麻雀部会・競技会
 平成 26 年
 1 月 11 日 (土) 役員幹事会 (一休)
 1 月 25 日 (土) 浦和稲門会新年会・懇親会
 (浦和パインズホテル)
 2 月 15 日 (土) 第 3 7 回麻雀部会・競技会
 (大雪の為中止)
 3 月 15 日 (土) 役員幹事会 (波奈・パルコ内) 開催予定
 3 月 25 日 (火) ゴルフ部会第 4 7 回コンペ
 (皆川城 CC) 開催予定
 幹事長 金子 努

講

演

「吉田松陰と八重の桜」

2013 年 5 月 25 日 総会に於いて



長谷川 勤氏 従って吉田松陰の会津訪問は歓迎を受けた。

嘉永 7 年、下田での密航に失敗した吉田松陰は、以後、幽囚の身で松下村塾を主宰する。

一方「八重の兄・覚馬」は江戸留学を果し、蘭学をもとに藩の洋式軍制の近代化を推進する。松陰と共通の師「佐久間象山」や「勝海舟」の下で海外情勢にも精通する。桜田門の変以降、幕府は急激に衰退し、尊王攘夷思想を実践すべく、各藩の志士達は京都での活動を先鋭化させる。これに対応すべく「京都守護職」が新設され、会津藩が就任する。此処から幕末維新时期における会津藩の悲劇が始まることになる。薩摩、長州、会津の確執は政治的路線を異にしながら、次第に対立を深めて抜き差しならない関係となり、戊辰戦争(会津戦争)が起るが、背後には西欧列強の植民地化への懸念があった。八重も藩士と共に「籠城戦」に参加、奮戦する。

松陰死して 5 年後に新島襄は函館からの密航に成功。「岩倉使節団」と米国で遭遇した襄は帰国後に京都で学校創設を計画。戊辰戦争後京都府顧問であった兄の山本覚馬を頼って上京した八重は襄と結婚。兄、覚馬の協力で「同志社英学校」設立の宿願を果す。

明治 1 4 年の政変で下野した大隈重信は「東京専門学校」の設立に取り掛かっていた時、新島襄の来訪を受け、「学校設立」構想を知り、賛同する。後に外相となった大隈は、当時の経済界の重鎮達に同志社への資金援助を要請して多額の寄付を実現する。

明治 2 3 年、新島は病で死去。以後、八重は同志社のみならず、自立した近代女性として社会奉仕活動を活発化させる。日本赤十字社の活動や、日清・日露の戦役には「篤志看護婦」として国家への奉仕活動を行い、民間人女性として初の叙勲の榮譽に輝く。会津魂を胸に逞しく生き抜いた八重の生涯は、多くの先達や交友関係を軸に展開された近代日本の建設期に「人脈」を通して貢献する八重の姿は「大河ドラマ・八重の桜」の主人公として、沢山の支持者を獲得しているようである。

会 員 報 告

戸山町在から浦和の在へ

今週の浦和稲門会に初めて出席させて頂きました。京都府立福知山高卒、教育学部英語英文科昭和 35 年卒です。夜行急行で上京し、早大競走部合宿所（戸山町 41 番地）入りし午後 2 時から戸山町グラウンドで合同練習、早大生活の始まりでした。夜は時々図書館へ、早稲田全線座は門限 10 時で途中迄でした。

故沖田芳夫元競走部監督の教え子の会「二八会（にっばちかい）」の会長や、各大学陸上 OBOG 有志の会 3～4 つの世話人を相勤めています。

1977 ソフィア・ユニバーシアード日本代表選手団陸上競技総務として世界と闘い選手の何人かは日本陸上の幹部になり、1992 ベルリンーポツダム駅伝の日本学生団長で引率した選手も監督や指導者として活躍の時代です。

富士山が世界遺産になりました。50 余年前、電通恒例の富士登山競走、浅間神社をヨーイドン、頂上でご来光を拝み感動しました。

浦和は昭和 50 年からの在です。

昭和 35 年 教育学部英語英文科卒



安田純三氏

浦和から声のチカラで日本を元気に！

稲門会は学生だったあの頃にタイムスリップできるひととき。文化のるつぽ文学部で様々な価値観にぶつかり合い、体育会スケート部で先輩後輩にもまれ、人づきあいはかなりイケてる、なんて思い込んでいた井の中の蛙時代では考えられない、銀行員だった夫の海外支店駐在に伴いイギリス、カナダ、マレーシア、フランス通算 13 年間の海外生活は、まさにコミュニケーションの葛藤の連続でした。自分の考えを表すツールである声・話し方はとても重要なものでした。その経験が土台となり、帰国後はラジオアナウンサーを経て現在はボイストレーニング・スピーチコンサルの会社を経営しています。

読み書き重視の日本の学校教育では“自然な”声の出し方、“伝わる”話し方を教えてくれません。だから自己流に陥り、コミュニケーションがうまく取れずに様々なシーンで老若男女が悩んでいることは、現在の日本における大きな問題のひとつだと思います。誰もが自分の声で自分らしく語りたい、と望んでいるはず。浦和から声のチカラで日本の元気の源をつくりたいと願っています。

昭和 60 年 第 1 文学部仏文学科卒



佐藤 恵氏

思いの根

早稲田では大学、大学院と建築を学び、卒業後は建築設計を生業にしてきました。

在学時代は、強烈な個性の先生方から身を以て「建築」を教えられた貴重な時間でした。技術的な授業も当然受けましたが、今となってしっかりと自分の中に残っているのは大切な精神の部分です。

設計でもスケッチでも造形でも、生みだすものには必ずその創作者の人間性が出てしまいます。在学中は作品を講評されると同時に、必ず人間性と今まで生きてきた人生まで批評されてしまうことが、辛く時に楽しかった思い出があります。講評中に先生方の意見が合わず、先生同志が本気の口論になることもままありました。名作でも駄作でも、良くも悪くも、思いや精神、生き方までもが宿ってしまう。それが非常に興味深く、建築に引き込まれていきました。

3.11 の震災後 8 月に、地元浦和で設計事務所を立ち上げ今日に至ります。かっこ良く言えば、これまで先生・先輩方から与えて頂き自分なりに蓄積してきたものを、そろそろ社会に人に還元していくように切り替えるぞという思いがありました。この思いの根は早稲田での学びにあり、今も自分の大きな軸になっています。

平成 8 年 早稲田大学 理工学部建築学科卒

平成 10 年 早稲田大学 大学院建設工学修士課程修了



上野 康子氏

現在、大日本印刷（株）で出版印刷関連の仕事に携わっております。大日本印刷と早稲田大学の関係について、少しお話させて頂きます。大日本印刷は、明治 9 年、「印刷」を通して知識・文化を広めるといふ情熱をもって、「秀英舎」という名前で創業いたしました。

「秀英舎」は、勝海舟が「将来、英国の右に秀でる覚悟で、事業の発展に努力せよ」と激励し、命名されました。「秀英舎」は、書籍・雑誌の印刷を軸に拡大していきますが、昭和 10 年、「日清印刷」と合併し、大日本印刷となりました。この「日清印刷」は、東京専門学校（早稲田大学前身）の印刷所として、高田早苗先生らが創立した会社であります。こういった沿革を持つ大日本印刷、現在も、早稲田大学とは、様々な分野で連携させて頂いております。私も微力ながら、協力させて頂いており、デジタル・グローバル化の流れの中、文字・活字・出版文化の継承に動しんでおります。

昭和 63 年 政治経済学部卒



辻村 浩司氏

早稲田から WASEDA へ”に思う

「人生劇場」の早稲田のイメージは過去のものになりつつあります。いや、もう既になっているかもしれません。昨年秋の早慶戦にサークルの仲間と連れ立って行ったのですが、驚いたことに、外野席に学生の姿が見当たらなかったのです。優勝がかかってないとはいえビックリしました。



堀 一雄氏

ここ4、5年前から特に感じるようになったのですが、大隈庭園入口にあるカフェや、そこから金城庵のあるグラウンド坂下へ向かう道沿いの食堂に入ると、英語や中国語で談笑している学生を数多く見かけられるようになってきました。国際教養学部の教室が近いせいもあるのでしょうか。また、4月からは、日本人と留学生が半々入居する900人収容の学生寮も中野に完成し、ますます外国人留学生が増えてくるようです。大学の創立150周年(2032年)VISIONを拝見するに、いままでの日本の大学の姿とはかなり違ったものになると想像できます。

2032年VISIONの達成はかなりハードルの高いものがあると思います。特に財政面で支援は、我々OB、OGの力が大きな役割を担っているのではないのでしょうか。私も、2032年の姿を夢見ながら、サポーターズクラブを通して微力ながら応援していくつもりです。

財政を補うものとして、東京女子医大と共同で設立した先端生命医科学センター(小保方晴子さんもかつて在籍)での細胞シートなど、実験室での研究から工業化プロセスへの特許の収入などが寄与するようになれば、と夢見ています。

昭和41年 理工学部卒

私は、現在、さいたま市内で司法書士と行政書士を開業していますが、学生時代は商学部在籍していました。

早稲田入学と同時に、地元関西から単身関東に移り住んで以来20年超、気づけばこちらでの生活の方が長くなりました。



久木田 英樹氏

胸を躍らせながら入学して間もない頃、ある先生が「来週は当然休講にします。それでも授業に出てきた人には不可をつけます」と授業でおっしゃいました。実は、次の授業が野球の早慶戦が行われる日と重なっていたのです。最初は冗談かと思いましたが、後日本当に休講掲示が出ました(笑)。先生も含め、早慶戦に対する熱い思いを実感したエピソードです。

語学クラス、ゼミナール、乗馬サークルを通じて、多くの仲間たちと真剣に学び、そして真剣に遊び、過ごした学生時代の経験が、今の私の礎になっています。

今後も、浦和稲門会を通じて、多くを学んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成8年 商学部卒

「早稲田」の輪を楽しむ

私、浦和稲門会に入会して丁度10年になります。ゴルフ部会、麻雀部会、そして親しい仲間達との定期的な食事会等、に参加して楽しんでいます。旅行部会も部会長として立ち上げ4回程実施しました。事情あって役を降ろさせて戴きましたが、今後も可能な限り参加したいと思っています。出身の応用化学科のクラス会も毎年行われており、30数名の参加で盛況で、昨年は遅ればせながらゴルフ部会を立ち上げ楽しんでおります。応用化学科では卒業生と教員で構成する「応用化学会」という組織があり、その役員をしておりますが、幾つかのユニークな活動をしており、それに参加すると共に、仲間と飲んだりゴルフをやったりしております。又昨年クラス仲間の一人が千葉の「流山稲門会」に所属し、登山部会長をやっておりますが、彼に誘われて素人ながらその会の登山にも参加しました。初対面の人達ばかりでしたが、あっという間に親しくなり早稲田の絆を感じました。「早稲田」という輪の中で、不思議なご縁を感じながら、色々楽しんでおります。

昭和37年 理工学部応用化学科卒



細田 拓氏

新人紹介



安田 純三さん



佐藤 恵さん



上野 康子さん



渡部 巖夫氏の思い出

渡部さんとはご自宅で何度かお会いする事がありました。応接間で奥様と二人で昔話をよくしておられました。彼は、SB食品の役員時代ゴルフ大会では何度も優勝されカップを見せては自慢していました。私が、会報の話をした時、マラソンの瀬古氏と親しいとの事。ふだん稲門会での講演はやっていない方でしたが、渡部氏がその場で講演を依頼し平成23年7月15日にワシントンホテルでの講演をお願いする事が出来たのです。当日本人が案内される予定でしたが、入院する事になり当方が代役でご案内した次第です。又彼はマージャンも大好きで、早慶マージャン大会にはいつも参加され、商品としてSBカレーを提供してくれ参加者に喜ばれていました。いつもにこにこされて穏やかな渡部さんが亡くなられ本当に残念で寂しい限りです。心からご冥福をお祈り申し上げます。

巽 正典

麻雀部会

「マージャンへのお誘い」

部長 若井誠治 昭和40年 第1商学部卒

マージャン部会は2007年の総会で発足が認められ、最初は年4～5回の不定期開催でしたが、2009年からは年6回偶数月開催と固定され、直前では4月19日(土)に才38回目が開催されました。当初の参加者は約25名で毎回半数弱の方々が参加されます。

◎開催要領

日時	偶数月の才3土曜日	AM 11:00 ~
場所	麻雀荘スター	さいたま市浦和区高砂 3-8-15
	TEL	832-8896
会費	6000円 (飲食代オール込)	
ルール	完全先付	半荘4回入れ替え戦

才13回からは慶応からも参加申し込みがあり、才19回から現在までずっと早慶対抗の型で開催しております。個人的にもベットの禁止となっておりますので皆さん飲食が盛んで会費の2/3はそちらに回っているのが現状です。頭の体操に最適な楽しい時間が過ごせます。奥様ご同伴も大歓迎です。

新しく参加御希望の方々を募っております。初心者も参加出来るアットホームな場です。6月は21日(土)の開催です。

事務局 巽 正典 TEL 048-710-5020 FAX 048-710-5021

お気軽にご応募下さい。開催のご連絡を差し上げます。



ゴルフ部会

昨年度のゴルフ部会に於いては、何と言っても東京六大学対抗戦で最下位となった事！六大学戦に参加以来初めて屈辱を受けた日となりました。今年は当会が幹事校で、大利根カントリークラブをお願いする予定でありますので、全員で力を合わせて優勝出来る様に頑張りたいと思います。昨年は第43回・こだまゴルフクラブ、44回・ゴールド栃木プレジデントカントリークラブ、45回・太平洋アソシエイト佐野ヒルレストコース、46回・霞ヶ関カントリー倶楽部と楽しんで参りましたが、成績についてはホームページに掲載されていますのでご覧ください。今年度の予定は第47回・平成26年3月25日・皆川城カントリークラブ、第48回・ゴールド栃木プレジデントCC、親善コンペで7月25～26日初穂カントリークラブ、第49回・9月7日レイクランドCC、第50回・12月4日大宮ゴルフコース、そして六大学対抗戦は11月12日、大利根カントリークラブと計画しています。会員もハンデを持っている方が39名居ります。ご家族の参加を歓迎致しますので、奥様お子様のご参加をお待ちしています。



旅行部会

秋季旅行旅行会は、25年10月28日(月)～29日(火)、16名の参加者にて、静岡県榛原郡にある寸又峡を訪ねました。



平成26年 浦和稲門会 新年会



グリーンクラブの皆さん



ホームカミングデー・稲門祭 開催

2013年10月20日(日)に開催され、雨にもかかわらず約6500人の校友とご家族に会場いただきました。森繁久彌生誕100周年記念イベントや下村文科大臣や鎌田総長などが登場した座談会<早稲田新生!>、稲門音楽祭、福引抽選会などさまざまなイベントが行われました。ご会場いただいた皆様、ご協賛、記念品購入等ご支援いただきました皆様に御礼申し上げます。2014年は10月19日(日)に開催されます。



【稲門祭】HP: <http://www.wasedaalumni.jp/tomonsai/> Facebook: <http://www.facebook.com/tomonsai/>
【HCD】HP: <http://www.wasedaalumni.jp/hcd/>

<ソチ冬季オリンピック男子フィギュアで羽生結弦君が金、ノルディック複合で渡部暁斗君が銀など校友・学友が大活躍しました。>

【クロスカントリー】成瀬野生(2007スポ科)、レンティング陽(2013スポ科)、宮沢大志(スポ科4年)【ノルディック複合】渡部暁斗(2011スポ科)、永井秀昭(2006スポ科)、渡部善斗(スポ科4年)【スキーフリースタイル】高尾千穂(2006人科)【フィギュアスケート】羽生結弦(人科通信)【スケートショートトラック】酒井裕唯選手(2011スポ科)、桜井美馬(2013スポ科)、菊池萌水(社会学3年)【アイスホッケー女子】足立友里恵(2008スポ科)【ボブスレー】佐藤真太郎(2003人科)



1月20日に早大で開催された壮行会に出席した足立選手、酒井選手、桜井選手、菊池選手(左から)

<早稲田スポーツ情報>

【11月】●少林寺拳法部・優勝！全日本学生大会 男子白帯緑帯の部 赤岡拓(創理1年)・山本裕貴(先理1年)組、2段以上の部 宮下亮介(社会学4年)・山本裕也(社会学3年)組、3人掛の部 稲留雅人(スポ科4年)・江原明徳(教育2年)・今井悠二(創理1年)組、女子白帯緑帯の部 秋光萌(創理1年)・浅見凜(人科1年)組、立合評価法 林龍之介(教育4年)、中村絵梨香(先理1年) ●ハンドボール部男子・25年ぶりの優勝！全日本学生選手権【12月】●ラクロス部女子・優勝！全日本大学選手権 ●バレーボール部男子・61年ぶりの優勝！全日本大学選手権 ●レスリング部・連覇！全日本選手権 前川勝利【1月】 ●アイスホッケー(スケート部)・優勝！日本学生選手権

各種ランキング

●2013 国家公務員試験 総合職合格者

総合職には2012年度より28%増の合計1753人が合格しました。競争率は昨年度の17.4倍より下がった12.7倍。大学出身別の合格者数順では、早稲田大学は2012年度と変わらず3位となりました。

	大学名	合格者
1	東京大学	454
2	京都大学	172
3	早稲田大学	105
4	慶應義塾大学	91
5	東北大学	74

●2013司法試験合格者

受験者数は7,653人、合格者数は2,049人。合格率は26.8%と昨年(25.1%)からやや上昇、早稲田大学法科大学院は、合格者数では昨年度の4位から3位となりました。

	法科大学院名	合格者(合格率)	受験者
1	慶應義塾大学法科大学院	201 (56.78%)	354
2	東京大学法科大学院	197 (55.18%)	357
3	早稲田大学法科大学院	184 (38.41%)	479
4	中央大学法科大学院	177 (40.05%)	442
5	京都大学法科大学院	129 (52.44%)	246

2014.1

2014年3月、中野国際コミュニティプラザ 誕生

2014年3月、中野に早稲田大学中野国際コミュニティプラザがオープン。日本人学生と留学生が共同生活を送る約900名規模の学生寮施設と、地域社会に開かれた生涯学習の場づくりを提供する教育施設を整え、グローバルに活躍する人材育成と地域との連携を目指しています。校友会から早稲田大学中野国際コミュニティプラザへ3億円を寄付しており、多目的ホールには「早稲田大学校友会」を、寮室等には都道府県支部・海外稲門会ほか、新たにご支援いただいた地域・年次・職域稲門会等の名称を冠します。引き続き、早稲田大学中野国際コミュニティプラザのご支援は早稲田サポーターズ倶楽部で受け付けております。



ホームページのご案内

<http://www.waseda-urawa.org/>


年会費振込みのお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃 稲門会活動にご協力下さり厚くお礼申し上げます。
さて、当会では、年会費として、3千円をお預りし、
会の運営に当たらせていただいております。
つきましては26年度 年会費お忘れの方は右記にお振込
下さいます様、お願い致します。

記
年会費振込口座

埼玉りそな銀行 浦和中央支店
普通 1713087 浦和稲門会

お問い合わせ 浦和稲門会事務局 小滝 迄
TEL 048-825-4095
FAX 048-825-4096

<p><不動産管理> 有限会社 ツダックス 代表取締役 辻村大司 さいたま市浦和区岸町5-8-3 TEL048-822-2104</p>	<p>浦和稲門会 ゴルフ部会 部会長 吉田俊夫 入会お待ちしております</p>	<p>パッキング・シム製造 各種プレス加工 富士パッキング 株式会社 埼玉県さいたま市浦和区木崎1-2-28 TEL.048-886-2221(代) FAX.048-886-8443</p>
<p>この広告は決して「付き合い広告」ではありません。 早稲田OB割 大マジメです!? 私まで連絡してください。 浦和稲門会 秋本高幸 0120-142-194 浦和中央自動車教習所</p> 	<p>(有)百丈梱包運輸 代表取締役 金子 努 さいたま市南区白幡5-12-7 TEL.048-866-6200 FAX.048-862-4941 S.49年 第一政治経済学部卒</p>	<p>Institute of Tech.&Ecom 株式会社 アイテック計画 代表取締役 曾根伸穂 再開発プランナー 技術士・区画整理士 一級建築士 事務所 〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目28番地 YKBエンサインビル9F TEL: (03) 3358-6061 代. FAX (03) 3353-4943 E-mail:sone.nobu@itec-plan.co.jp 自宅 〒336-0962 埼玉県さいたま市緑区下野田950-2-1404 TEL: (携帯) 090-3235-3308</p>
<p>Suntrade 代表取締役 綱川寿夫 株式会社 サントレード 〒336-0026 さいたま市南区辻4-9-15 TEL048-861-4664 FAX048-866-3527 E-mail:tsuna-h@suntrade.jp</p>	<p>総合建設業 新加坡まで 60th 株式会社 田中工務店 ISO 9001・14001 認証 JQA 〒336-0026 さいたま市浦和区常盤10-16-23 FAX 048-831-5797 http://www.tanaka-koumuten.co.jp 代表取締役社長 田中一成</p>	<p>三洋電設株式会社 取締役社長 早稲田一也 さいたま市南区鹿手袋3-22-21 TEL 048-864-9204(代)</p>
<p>レンガの家造り 株式会社 ロッキー住宅 代表取締役 大熊繁紀 さいたま市南区鹿手袋3-22-21</p>	<p>有限会社 佐藤コンサルタント <不動産の仲介> 代表取締役 佐藤 齊 〒330-0053 埼玉県さいたま市浦和区前地3-10-15 TEL.048-882-4071 FAX.048-882-4095 E-mail:hsatogee@tbz.t-com.ne.jp 携帯: 090-1405-3722</p>	<p>キープハウスの タツミ建設工業(株) 〒336-0038 さいたま市南区鹿手袋3-4-11 TEL 048-710-5020 FAX 048-710-5021</p>
<p>税理士法人 小滝会計 税理士 行政書士 小滝敏郎 事務所 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂1丁目2番1号 エイベックスタワー浦和107 TEL.048(825)4095 FAX.048(825)4096</p>	<p>司法書士法人 前田合同事務所 不動産登記・商業登記・成年後見業務 代表社員 司法書士 宮坂秀樹 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目3番1号 THIビル3F TEL 03-5474-3261 FAX 03-5474-3262</p>	<p>株式会社 プロワーク 代表取締役 野並伸行 〒336-0033 さいたま市南区曲本3-7-29 TEL.(048)845-7800 FAX.(048)845-7810 E-mail:nonami@prowork.co.jp</p>

広報担当: 佐藤 齊 宮坂秀樹